

トピックス **ぶらす**

2/24

明るい笑顔をプレゼント

中江保育所（高橋ひろ所長、園児102人）の4・5歳児40人が2月24日、南方地区の南三陸町仮設住宅を訪れ住民と交流を深めました。園児たちは、集まった約20人の住民を前に元気よく歌を歌ったり、着物で踊りを披露したほか、子どもたち手作りのかわいらしいおひな様やはし置きを、一人一人にプレゼントしました。



▲集まった参加者に、手作りのプレゼントを配る園児たち

3/4

成功させよう「ねりんピック宮城・仙台」

60歳以上の選手が競技を競う「ねりんピック宮城・仙台2012」の卓球交流大会が本年10月に登米市で開催されることを受け3月4日、中田総合体育館を会場に、プレイベントとして卓球交流大会リハーサル大会が開催されました。大会には県内外から11チームが参加し、各試合とも本番さながらの白熱したプレーが繰り広げられました。



▲各コートで、白熱した試合が行われたリハーサル大会

3/10

トップアスリートに学ぼう！

迫体育館で3月10日、市内の小中学生を対象とした卓球スポーツ教室が開催されました。講師には女子卓球選手の平野早矢香選手と酒井春香選手を招き、実技指導や講話が行われました。当日は、世界の舞台で戦う両選手からレベルの高い指導を受けようと、大勢の卓球クラブ・部員が参加し、技術や上達のポイントなどを学びました。



▲参加者に上達のポイントについて解説する平野選手

3/11

子どもたちが考える未来の登米市

「子どもたちが考える登米市の未来新聞コンクール」表彰式が3月11日、中田農村環境改善センターで行われました。このコンクールは市内小中学生を対象に、地域を愛する心を育むことを目的に開催していて、今年で4年目となります。表彰式では受賞したグループが作成した作品の説明や、未来の登米市の姿について作品を通して語りました。



▲未来の登米市について、作品を紹介する児童たち

東 中田で災害ボランティアシンポジウム
日本大震災を振り返って

中田地区災害ボランティアシンポジウムが3月5日、中田農村環境改善センターで開催されました。シンポジウムでは昨年の東日本大震災を振り返り、当時の地域の様子や避難所での取り組みなどについて、行政区長をはじめとするシンポジストの皆さんが意見を交わしました。中でも高齢者への対応や機材・食材の調達に工夫や苦労した点について多くの意見が出されるなど、支え合いながら備えていくことの大事さをみんなで再確認した1日となりました。



▲日ごろからの備えや地域の協力の大切さを再確認したシンポジウム

子 登米児童館でわいわいサークル
育てママが笑顔で交流

登米児童館において2月23日、子育てについてお母さん同士の交流を目的とした「わいわいサークル」が開催されました。今回は、栄養士や食生活改善推進員の指導の下、8組の親子が参加して野菜ギョーザ作りを行いました。調理では、キャベツやニラ、シタケなどの具がたっぷり入ったギョーザを皆で楽しみながら作り、調理後は、全員でテーブルを囲み、子育てや地域の話を中心に、わいわいと談笑しながらおいしく食べました。



▲調理終了後はおいしいギョーザを囲み、楽しみながら交流しました

プロ 南方で青少年に夢を与える講演会
野球のコーチに学ぶ

青少年のための登米市民会議南方支部が、3月3日、東北楽天ゴールデンイーグルスの中濱裕之コーチを講師に招き南方農村環境改善センターを会場に「青少年に夢を与える講演会」を開催しました。会場には、南方町内の小中学生や保護者約70人が訪れ「家族や仲間の支えがあってこそ夢がかなえられる」といった中濱コーチの講演に真剣に耳を傾けていました。講演の後には、ティーバッティングやストラックアウトなどが行われ、参加者はプロ野球のコーチから姿勢やポイントなどについて指導を受けました。



▲プロ野球コーチの指導に、真剣な眼差しの子どもたち